

令和7年度 「運営に関する計画」



大阪市立蒲生中学校

令和7年4月

大阪府立 蒲生中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

安心安全の城東区との連携事業 SSR (スクールサポートルーム) の活用により、不登校状況が改善した生徒の比率は増加している (一昨年度 37%→昨年度 50%) ものの大阪府が掲げる目標には達していない。関係諸機関と連携しながら少しでも目標に近づきたい。また、毎年不登校生徒は増加傾向にあり、SSR のさらなる活用と不登校へ繋がる小さなサインを見逃さない体制作りと教職員の意識の向上が重要である。

学力面において、各学年ともチャレンジテストの全教科平均では大阪府・大阪市を上回っているが、下回る教科もある。そのため、教科ごとに結果を分析し、改善できるよう学力向上支援チーム事業と校内授業研究および授業アンケートを連動させ、教員の授業力向上および生徒の学力向上に取り組んでいく。ICT 機器は使用頻度が増加しているものの活用率が 80%に満たない日が多く活用方法の工夫と意識の向上が必要である。

体力面において昨年度はほとんどの種目において全国平均を上回った。校内調査における「運動 (体を動かす遊びを含む) やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合は 60%と高く、このことが全国平均を上回る原因と考える。今後もスポーツが好きな生徒の育成に励みたい。

環境面では差年度と同様、教職員のワークバランスと ICT 機器の使用頻度の増加と効果的な活用方法の工夫を目標とする。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

[大阪府共通目標]

○令和7年度の校内調査において、不登校生徒の改善の割合を 65%以上に増加させる。
(昨年度 50%)

○令和7年度の校内調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 95%以上にする。(昨年度%で達成)

[学校目標] 95.6

○令和7年度の校内調査における「先生は、いじめや校内暴力など私たちが困っていることに対応してくれる」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 95%以上にする。
(昨年度 96.8%で達成)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

[大阪府共通目標]

○令和7年度の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」に対して、最も肯定的な「あてはまる」と回答する生徒の割合を50%以上にする。(昨年度41%)

○令和7年度の校内調査における「運動 (体を動かす遊びを含む) やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合を 60%以上にする。(昨年度 60.2%で達成)

[学校目標]

○令和7年度の大阪府中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比をいずれの学年も1.03以上にする。

昨年度 国語 1年 1.05 2年 1.01 3年 1.02

数学 1年 1.14 2年 1.06 3年 1.07

【学びを支える教育環境の充実】

[大阪市共通目標]

○授業日において、生徒の8割以上が学習用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。(ただし事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さないに数を除く)(昨年度 1.8%)

[学校目標]

○教職員の働き方改革に関して、年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を100%にする。(昨年度 94%)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

○年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。

(R7 目標 65%以上)(昨年度 50%)

○年度末の校内調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を95.6%以上にする。(昨年度95.6%)

[学校目標]

○年度末の校内調査における「先生は、いじめや校内暴力など私たちが困っていることに対応してくれる」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を95%以上にする。(昨年度96.8%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」に対して、最も肯定的な「あてはまる」と回答する生徒の割合を昨年度より高くする。(昨年度46.2%)

○年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合を60.2%以上にする。(昨年度 60.2%)

[学校目標]

○中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。

【学びを支える教育環境の充実】

○授業日において、生徒の８割以上が学習用端末を活用した日数が、年間授業日の５０％以上にする。（ただし事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さないに数を除く）（昨年度 1.8％）

〔学校目標〕

○教職員の働き方改革に関して、年次有給休暇を１０日以上取得する教職員の割合を 100％にする。（昨年度 94％）

(様式2)

大阪市立蒲生中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【安全・安心な教育の推進】 ○年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。 (R7 目標 65%以上) (昨年度 50%) ○年度末の校内調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 95.6%以上にする。(昨年度 95.6%) [学校目標] ○年度末の校内調査における「先生は、いじめや校内暴力など私たちが困っていることに対応してくれる」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を96.8%以上にする。(昨年度96.8%)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 登校支援対策委員会や職員会議等で情報共有し、不登校傾向にある生徒が登校できるように密に家庭との連絡をとり、SSRやフリースクールなど関係機関と連携して取り組む。(生活指導部) ----- 指標 関係機関と情報を交換する機会を月に1回設ける。	
取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】 学年の取り組みを通じて、自己肯定感を高めることで、人の役に立ちたいと感じる生徒の育成に取り組む。(各学年) ----- 指標 1年生は宿泊学習や職業講話、2年生は職業体験、3年生は修学旅行や進路講話などの取り組みなどを各学年で実施することで、自己肯定感を高めていく。	
取組内容③【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 生徒が安心して学校生活を送れるよう、学校全体でいじめ防止と早期発見に取り組む。また、いじめが疑われる場合は、迅速かつ適切にこれに対処し、さらにその再発防止に取り組む。(生活指導部) ----- 指標 ・毎学期、教育相談週間を実施し、生徒との信頼関係の構築と早期発見、早期対応に取り組む。 ・毎学期のいじめアンケートで挙げられた事案に対し、早期対応に取り組み、再発防止に取り組む。	
取組内容④【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 校内のインクルーシブ教育の充実を図るため、通級への移行も含めた支援体制を確立する。(特別支援担当) ----- 指標 障がいのある生徒一人一人に「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を作成し、その計画に基づいて効果的な指導や適切な支援を行う。 インクルーシブ教育研修会、連絡会を毎月実施し、特別支援在籍の生徒の情報共有を徹底する。	

<p>取組内容⑤【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>年に1回、外部機関によるスマホ安全講習を実施し、実際に起きている事案をもとに、スマホの適切な使い方やSNS上でのトラブルについて講義、指導を行う。（生活指導部）</p>	
<p>指標 生徒会を中心に、学校スマホルールの周知と広報活動を毎学期行う。</p>	
<p>取組内容⑥【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>道徳の年間指導計画を作成し、授業時数の確保に取り組み、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育成する。（道徳教育推進委員会）</p>	
<p>指標</p> <p>年間35時間道徳の授業を実施して、多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深める学習に取り組み、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育成する。</p>	
<p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>取組内容①</p> <p>取組内容②</p> <p>取組内容③</p> <p>取組内容④</p> <p>取組内容⑤</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

(様式2)

大阪市立蒲生中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」に対して、最も肯定的な「あてはまる」と回答する生徒の割合を昨年度より高くする。(昨年度44.6%)</p> <p>○年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合を60.2%以上にする。(昨年度60.2%)</p> <p>[学校目標]</p> <p>○中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>毎時間の授業のめあてを明確にし、校内研修を通じて授業力の向上をはかる。 (教務部)</p> <hr/> <p>指標</p> <p>授業アンケートの「授業の進め方は丁寧でわかりやすかったか」に対する学校の全体平均値を4.6以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】 校内公開授業の充実、相互に研修を深めることによって、より活発に話し合う活動を通じて自分の考えを深め、広げて、誰一人取り残さない学力の向上を目途に「主体的・対話的で深い学び」を推進する。 (教務部)</p> <hr/> <p>指標: 学校教職員全体で公開授業を実施し、年間3期に分けて研究協議を通して授業力向上に取り組む。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>多くの種目を年間通して取り組むことによって健やかな体の育成に取り組む。(保健体育科)</p> <hr/> <p>指標</p> <p>全学年、1学期に新体力テストを実施し、2年生において、全項目の記録が大阪市の平均を上回るようにする。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>健やかな体の育成に必要な運動、睡眠、食事の大切さについて食育等を通じて、基本的な生活習慣の定着に取り組む。(健康教育部)</p> <hr/> <p>指標</p> <p>保健だより、食育通信を毎月発行する。</p> <p>保健委員会で校内、手洗い場の石けんや、月に一度の頻度で生理用品の補充、設置など衛生美化に取り組む。文化食育委員会で、食育掲示板を毎月更新し、生徒の食育意識を高める。</p>	

<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
取組内容① 取組内容② 取組内容③ 取組内容④	
次年度への改善点	

(様式2)

大阪市立蒲生中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 ○授業日において、生徒の8割以上が学習用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。(ただし事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さないに数を除く)(昨年度1.8%) ○教職員の働き方改革に関して、年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を100%にする。(昨年度94%)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向6 教育DX(推進)】 学習者用端末等の ICT 機器を活用し、生徒の情報活用能力を向上する。そのため、心の天気などの毎日学習者用端末を活用できるよう取り組みを進める。 <div style="text-align: right;">(ICT 教育推進委員会)</div> <hr/> 指標 学習者用端末を生徒に毎日1回以上は活用できるよう取り組む。	
取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 教職員の働き方改革に関して、年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を100%にする。(昨年度94%)。	
指標 学校閉庁日を年間7日以上設定し、教員の年次休暇取得しやすい環境を構築する。	
取組内容③【施策番号、施策名】 <div style="text-align: right;">()</div> <hr/> 指標	
<div style="text-align: center;"> ・ ・ ・ </div>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
取組内容①	
取組内容②	
次年度への改善点	